

令和8年度 第1回

県内小規模事業者等 景況・状況調査（4.5.6月時点）

1. 県内の景況感（業況判断 DI）

- ・ 原材料費・エネルギー価格の高騰、人手不足による人件費増が続き、企業採算を圧迫。景気判断 DI は悪化傾向。
- ・ 中信地区（松本信用金庫）：全業種で DI が前期比悪化。サービス業・建設業の落ち込みが目立つ。
- ・ 北信地区（長野信用金庫）：物価高に賃金が追いつかず、消費マインドが冷え込み、小売・サービス業の地元中小企業に影響。DI はマイナス圏で推移。

2. 業種別の動向

■ 製造業

【県内】

- ・ 半導体・IT 関連は AI 需要で一部持ち直し。地場中小は受注のばらつき、海外減速懸念。価格転嫁難から DI は大幅マイナス。

【郡内】

- ・ ナフサ・石油関連の資材や包材が深刻な品薄・価格高騰に見舞われており、併せて光熱費、人件費の上昇が事業者の大きな負担となっている。

■ 建設業

【県内】

- ・ 資材高騰・油脂類の品不足が顕在化。建築・塗装工事で遅れ。公共事業は減少傾向。

【郡内】

- ・ 断熱材やユニットバス、アスファルトルーフィング等のメーカー受注停止・入荷未定が相次ぎ、工事のストップや受注制限による売り上げの大幅減。また、深刻な人手不足で受注断念が発生。公共工事の減少や資材高騰による適切な見積作成の難しさが浮き彫りになっている。

■ 小売業

【県内】

- ・ 小売業では物価高騰に伴い売上高が増加傾向にあるものの、原材料費や経費の上昇により利益幅が圧迫されており、資金繰りや今後の業績見通しには厳しさが窺える。

【郡内】

- ・ 注文しても入荷しない包装資材が多く、営業に支障をきたしている。また、食料品や乳製品の段階的な値上げにより消費者の節約志向・安価品へのシフト・買い控えが懸念されている。一方で漆器店などはインバウンドの回復が順調。
- ・ 灯油小売りは価格不安定への危惧が強く、電気工事等でエアコン用部品の不足による工事延期が発生。

（参考資料）松本信用金庫「産業経済動向」

長野県商工会連合会木曽支部独自調査

■ サービス業・飲食業

【県内】

- ・飲食業は物価高騰により消費者の外食控えが懸念される。夜の宴会の減少は依然として回復していない。自動車修理について材料費の高騰が依然として続いている中、価格転嫁が進んでおらず利益率は低調。

【郡内】

- ・飲食業の新規開業や売上増など明るい兆しが見られる一方、人件費増・仕入れ高騰で利益が出にくい状況。エンジンオイル、シンナーの供給不足による自動車整備業への深刻な影響が発生。

■ 観光業

【県内】

- ・長野県全体で観光客数が増加して需要が堅調に推移しており、大きな経済効果を生むとともに、木曽地域を含む各エリアの観光回復にもプラスの影響をもたらしている。

【郡内】

- ・中山道トレイル、木曽地域へのインバウンド客が著しく増加（宿泊数増、単価上昇）。これに伴い、ゲストハウスや飲食店の新規開業、SNS活用相談が活発。地域によっては中東からの観光客キャンセル、高単価商品の売り上げ低下がみられる。

■ その他(中東情勢・コメ価格・価格転嫁・事業承継等)

- ・ナフサ関連原料の途絶やオイル不足により、自動車整備で他者案内や廃業が発生。屋根工事の中断・延期、賃上げの延期など経済活動に直接打撃。
- ・継続的な創業塾の成果による新規相談（飲食、簡易宿所）が増加。旅館業などでは事業承継に積極的な動き。

■ 商工会の取組

- ・国の交付金等を活用したプレミアム付き商品券の発行(全商工会)
- ・物価高騰等により事業に支障をきたしている事業者向け支援の実施(木曽町)
- ・中東情勢の影響に関するヒアリング(南木曽) 個別無料経営相談会の開催(木曽町)
- ・補助金・助成金の提案及び全会員への周知(全商工会)
- ・「あげまつ豚」を活用した特産品化キャンペーンの展開。